

町長日誌 No.172



町長日誌の第 172 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月9日(金)

4日(日)紋別空港から東京出張で6日に帰って来たのですが、随分積雪量が増えていたのに驚きました。新ひだか町や新冠町のビニールハウスや倉庫などが数百棟雪でつぶされたことが農業新聞に大きく取り上げられていました。これからミニトマトなどの苗作りが始まる季節を迎えていることを考えるとお見舞いの言葉ありません。平成29年度北海道の農業生産額が発表され、1兆2千115億円となりました。一番の稼ぎ頭は「生乳」で、3641億円と全体の30%を占めます。乳用牛の販売と併せると4712億円に上り、北海道の農業生産の約4割を占める様になりました。興部町の酪農は5万tの生乳生産量で全道の1.27%となり一翼を担っています。実は第2位が「野菜」で2206億円と全体の18%を占めており、トマト、ニラ、ホウレンソウなど町や農協ではビニールハウスでの栽培を推進しています。昨年末からの全国的な寒波や大雪被害で白菜などの野菜は2～3倍の価格となっていますが、生産地の大雪災害は更に様々な野菜類の品不足を長引かせる可能性があります。

1月14日(日)～18日(木)

東京、岡山県への出張です。15日は朝から東京四谷にある雪印メグミルク本社を表敬訪問し西尾社長をはじめとする役員の方々に新年の御挨拶と興部工場職員独身寮改築工事決定の御礼に伺いました。西尾社長からは「乳業メーカーの業績が順調なこと、益々北海道の生乳生産に期待している」とのお話を伺いました。

その後、お昼にかけて赤羽にあります(株)ニトリ東京本部に似鳥会長を表敬訪問して、今年の夏祭りでの花火の御礼と12月にはふるさと納税として500万円のご寄附を頂いたお礼を申し上げます。毎年

のことですが似鳥会長とは社員食堂で会長の好きな半カレー・半ラーメンセットを食べることになっています。今回もそのセットを頂きながらテレビのびっくりマンデー出演の話など約1時間楽しく懇談させて頂きました。今年の夏祭りにもニトリ花火として応援を約束して頂きました。

午後からは、農水省に出向き国の補正予算で要望していたクラスター事業(興部町関係分約14億円)など酪農・畜産対策費がほぼ要望どおりになったお礼の挨拶で関係部署を回りました。

夕方、品川から岡山市に新幹線で向かい、岡山市内に宿泊しました。翌16日朝からは全国バイオマス産業都市連絡協議会の視察研修に合流して岡山県真庭市の視察に2日間に亘って参加しました。この協議会は私が代表を務めているのですが、今回初めての視察研修で真庭市長には副会長をしてもらっています。真庭市は平成17年に9つの町が合併して出来た市ですが、木材業界ではとても有名な地域で、特にCLT(直行集成板)と言う鉄筋コンクリートに変る柱・壁材製造では日本のトップランナーの銘建工業のある町です。このまちは映画の八つ墓村の舞台にもなったところで、木質バイオマス発電、し尿と生ごみのバイオマス発電や消化液の利用など本州ではバイオマスの代表格です。また、この町では10年前からバイオマスツアーを市の観光連盟が主催していて、今回はそのツアーに参加しました。木質ペレット燃料で栽培しているトマト農家や液肥を利用している農業法人、役場の冷暖房は木質ペレットボイラーで行っているなど盛りだくさんのメニューでした。残念ながら、5万人の市民全体への浸透はまだまだこれからと言ったところですが、何よりも林業を中心とした民間企業が熱心に町づくりに参加しており、バイオマスを地域振興のカギとしているところが素晴らしいと感じました。

さて、2月は各地で冬のイベントが行われる時期です。興部でも18日(日)にはアニューを会場に「ミニミニ冬まつり」が行われます。一方、確定申告の季節でもあります。お手を掛けますが、役場で早めにお願ひします。また、今はネットでの申告も出来る様になっていますのでお試しください。町民の皆さんが何気なく普通に暮らせるためには、様々なライフラインが滞りなく働かなければなりません。このライフラインは民間が運営しているところもありますが、地方ではその殆どにおいて行政が担っており、その運営財源は皆さんが負担する「税金」で賄われています。今年も皆さんのご協力をお願いします。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願ひします。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

